

思い出してみても…～私にもあった青春時代～

ねらい

自分の青春時代(高校時代)を思い出し、子どもの思いに寄り添いつつ言葉を届ける術を考える。子どもにとってどんな親であればいいのか考える。

学習者: 筆記用具

主催者: 名札、県ワークシート、アンケート用紙、模造紙、フェルトペン、ボール

準備物 ペン、マグネット、付箋

会場設定: 机(グループ×2個)、いす、ホワイトボード(または黒板)

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
14:30 (10分)	受付(名札) 挨拶・ファシリテーター  自己紹介・趣旨・ルール説明など	○各自名札をつける  参加者は平等(一方的にしゃべらない、人の話を聞く)、発言は強制ではない、しゃべらないのも自由、守秘義務(気持ちよく話せるために)	あらかじめ机を設定しておく。真ん中に空間を空けておく。※スケジュールを版書しておく。
14:40 (10分)	アイスブレイク(雰囲気作り) ○「思い出そう高校時代」ゲーム ①円を作り、全員の顔が見えるように ②ファシリテーターが質問をする「高校時代の好きな科目」で分かれる。 ③次に「高校時代に好きだったこと、やっていたこと」で分かれる。 ④グループ作り: 4人から5人のグループを作る  グループ作り・机に移動	○お互いを知り合う ○和やかな雰囲気作りに配慮する ○どんなことをやっていたか話してもらおうとよい。 ○グループで話が出来るような配慮をする  グループ作り(6人以内のグループ) →この間にワークシートを配布する	アイスブレイクは空間部分を利用  ・グループ数に応じて机を配置
14:50 (15分)	<考えましょう・出し合ひましょう①> ○表ページの文章を読む ○各個人で①「自分が子どもと同じ年齢だった頃を思い出して記入してみましょう」をワークシートに書き出してみ ○グループ内で紹介しあう	自分の青春時代を思い出して、子どもの気持ちに近い感情を持ってもらう	読み手は指定する 時間を制限する
15:05 (20分)  15:25 (15分)  15:40	<考えましょう、出し合ひましょう②> ○「自分がわが子と同じ年齢だった頃を思い出して……」をグループ内で出し合ひ模造紙に記入する ①悩んでいたこと ②相談したときの親の接し方 ③あなたが望んでいた親の接し方 <考えましょう、出し合ひましょう③> ④子どもに相談されたときの理想の接し方 5か条をグループで考える  ○グループ発表	○模造紙に直接書き込む  各グループで司会・発表者を決めてもらう  ○各グループで話し合われたことを発表する	模造紙の使い方を板書する
15:50	<学習を振り返りましょう> ○学習の振り返り  ○アンケートの記入	○ファシリテーターからのまとめ 子どもにとって大人はどんな存在であればいいのか考える。	
16:00	終了・片付け		